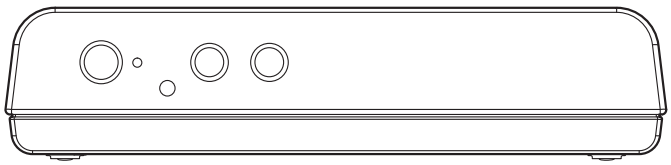
ORION

# 簡易地上波デジタルチューナー

品番 **DHV-E34**

# 取扱説明書



このたびはORION簡易地上波デジタルチューナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保存し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
■ 保証書は必ず「販売店／購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

地上 DIGITAL

もくじ


**はじめに**

安全上のご注意 ..... 2
ご使用になる前にかならずお読みください
主な特長 ..... 6
使用上のご注意 ..... 6
各部のなまえ ..... 7
リモコンについて ..... 8

**準備**

アンテナのつなぎかた ..... 10
テレビとの接続 ..... 11
B-CASカードの挿入 ..... 13
はじめての設定のしかた ..... 14
アンテナの設定のしかた ..... 17
受信チャンネルの変更 ..... 18

**基本操作**

テレビを見る ..... 21
番組表をつかう ..... 23
マルチリモコン機能 ..... 24

**便利な使い方**

メニュー画面の操作方法 ..... 25
メニュー項目の詳細 ..... 26

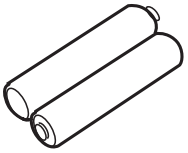
**その他**

地上デジタル放送が受信できないときは ..... 29
地上デジタル放送チャンネル一覧表 ..... 30
故障かな？と思ったら ..... 32
エラー表示一覧表 ..... 34
アフターサービスについて ..... 35
仕様 ..... 裏表紙

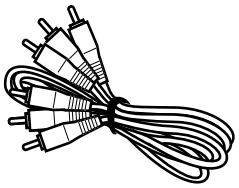

## 付属品をお確かめください。



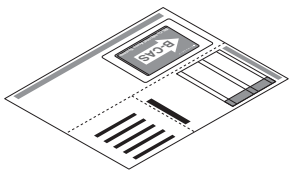
リモコン×1



単3乾電池×2



映像/音声コード×1



B-CAS(ビーキャス）カード×1

# 安全上のご注意

この取扱説明書の文中にでてくる「簡易地上波デジタルチューナー」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています。

ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所にかならず保存してください。

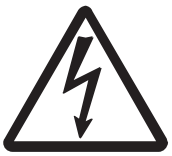
本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
**本機および付属品**をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上かならずお守りください。

**⚠警告** この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

**⚠注意** この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

**絵表示について**
この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

絵表示の例

| 注意(警告を含む)を促す記号 | 行為を禁止する記号 | 行為を強制したり指示する |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 高圧注意 | 接触禁止 | プラグをコンセントから抜け |

**家庭用品品質表示法による表示**
**ご使用上の注意**

1. 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2. 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3. 内部には高電圧部分がありますので、やむをえずキャビネットをあけるときは、必ず電源スイッチを切り、差込プラグをコンセントから抜いてください。
4. ちり、ほこりを取るため本機内部を掃除するときは販売店もしくはサービスセンターに相談してください。

オリオン電機株式会社

## ⚠警　告

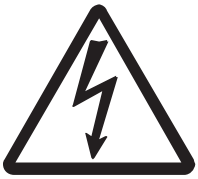
**電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください**

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにかならずプラグを持って抜いてください。



禁　止

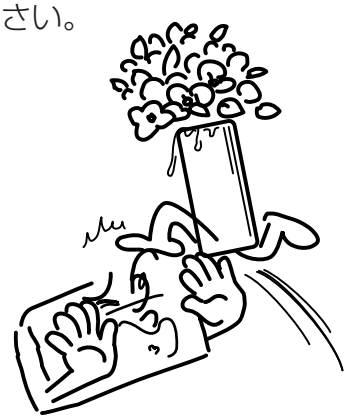
**分解や改造をしない**
**火災や感電の原因**となります
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、**感電の原因**となります。お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご依頼ください。


高圧注意


分解禁止

**内部に異物や水分を入れない**
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、**感電や火災の原因**となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘヤピンなど)を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。




水場での使用禁止

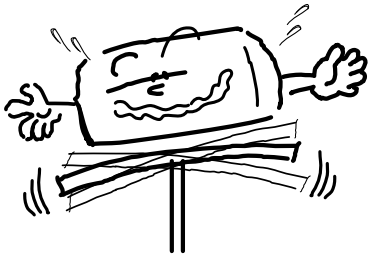
**雷が鳴りだしたらプラグに触れないでください**
**感電の原因**となります


接触禁止

**本機は国内専用です**
電源プラグを交流100ボルト(AC100V)の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると**火災や感電の原因**となります。


AC100V以外禁止

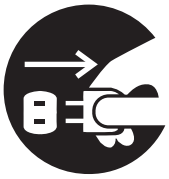
**設置場所や取り付けには気を付けて**
**水平で安定した場所に設置する**
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下による**けがや物損事故の原因**となることがあります。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。




禁　止

**異常時の処置**
故障のまま使い続けると、**火災や感電、けがの原因**となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音がでない)
- 電源コードやプラグに傷がある。


プラグをコンセントから抜け

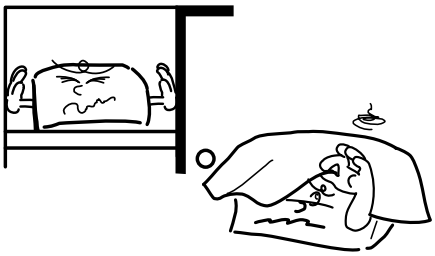


**ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、 ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。**
**電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。**

# ⚠ 注　意

**通風孔をふさがない**
通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から10cm以上の間隔を開けてください。
- ビデオデッキなどの発熱する機器と重ねて設置しないでください。





禁　止

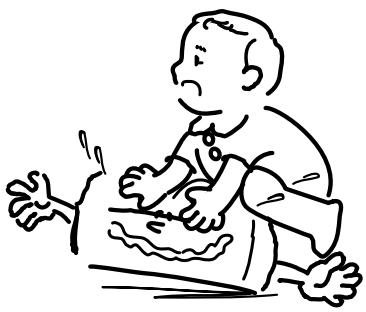
**湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない**
**火災や感電の原因**となることがあります。





禁　止

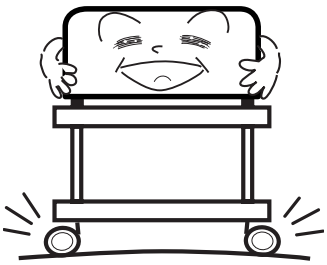
**本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない**
倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。





禁　止

**キャスター付の台に置くときは、キャスター止めをする**
可動式の台は動きやすいため、転倒による**けがの原因**となることがあります。





指　示

**安全のため電源プラグを抜く**
次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。**

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合(この場合は、接続コードなどもはずしてください。)



プラグをコンセント
から抜け

**濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない**
**感電の原因**となることがあります。

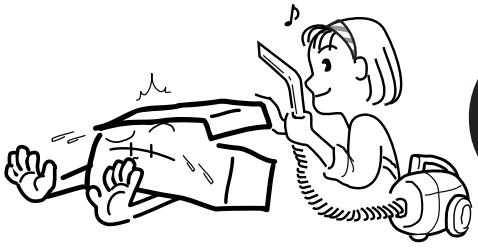


ぬれ手禁止

**1年に1度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください**

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、**火災や故障の原因**となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

- お客様ご自身による内部の掃除は絶対にしないでください。**感電の原因**となります。
- 内部清掃費用については、お買い上げ店にご相談ください。

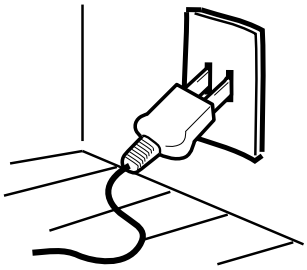


禁　止

**ときどきは電源コンセントやプラグの点検を**

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。

電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。



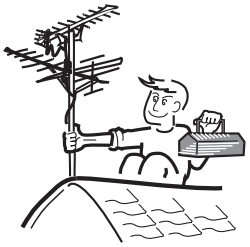
禁　止

**思わぬ事故を防ぐために**

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

**外部アンテナ工事は技術と経験が必要です**

お買い上げ店にご相談ください。



指　示

**お手入れについて**

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。

**もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。**



# 主な特長

**地上デジタルチューナー**
地上デジタル放送は、従来のアナログテレビと同じUHF電波を利用した放送です。
アナログ放送では得られない高画質で高音質な放送を楽しむことができます。
地上デジタル放送では番組内容によりＳＤ放送（一般画質放送）とＨＤ放送（ハイビジョン放送）があり、ＳＤ放送の場合はＨＤ放送と比べ画質が落ちますが、放送の内容によるもので故障では有りません。

※2009年3月末時点で、デジタル放送の人口カバー率は９７%となっておりますが、地区によりカバーできていない地区があります。
詳しくはDpa（社団法人デジタル放送推進協会）ホームページ（http://www.dpa.or.jp/）を参照してください。

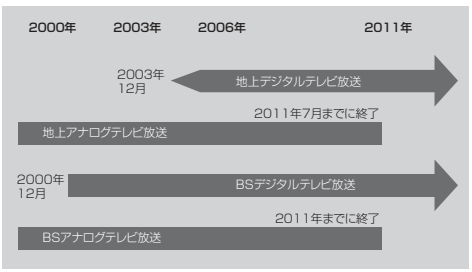
**オンスクリーン表示**
画面を見ながら設定ができます。

**D4 端子**
テレビと接続して高品位な映像を楽しむことができます。

## ※アナログ放送からデジタル放送への移行について※

### デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、ＢＳアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。




# 使用上のご注意

**本機の温度について**
本機は、長時間使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオテープなど熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

**ノイズについて**
SD放送（一般画質放送）からHD放送（ハイビジョン放送）、あるいは逆にチャンネルを切り換えた場合に画面上にノイズが発生することがありますが、回路処理上で起こるものであり、故障ではありません。

**本機を破棄するとき**
一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

**B-CAS カードについて**
付属のB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために必要な大切なカードです。
破損や紛失の場合はただちにB-CAS[(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ]カスタマーセンターへご連絡ください。
なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が発生します。

**デジタル放送受信時**
デジタル放送受信時の立ち上げ時間は約8秒で、チャンネル切り替え時間は約4秒となっており、多少時間がかかりますが、故障ではありません。

**地上デジタル放送のCATV放送対応について**
本機は、パススルー方式のすべての周波数に対応しています。
送信方式については、ご契約・もしくはご契約予定のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

**双方向通信について**
本機は、電話回線を利用した双方向通信機能は搭載しておりません。

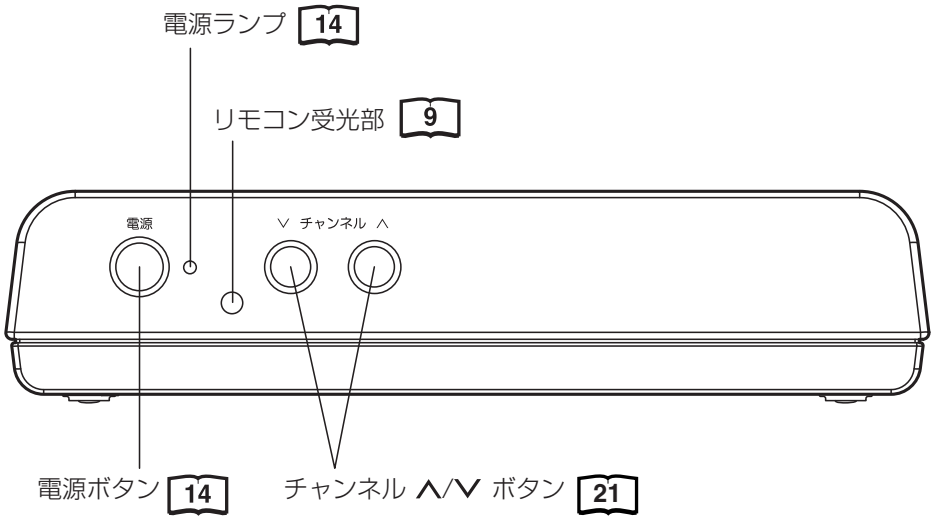
**データ放送について**
本機は、データ放送に対応しておりません。

**緊急警報放送について**
地震情報などの緊急警報放送を受信した場合、緊急放送のチャンネルへの切り換えを確認する画面が表示されます。

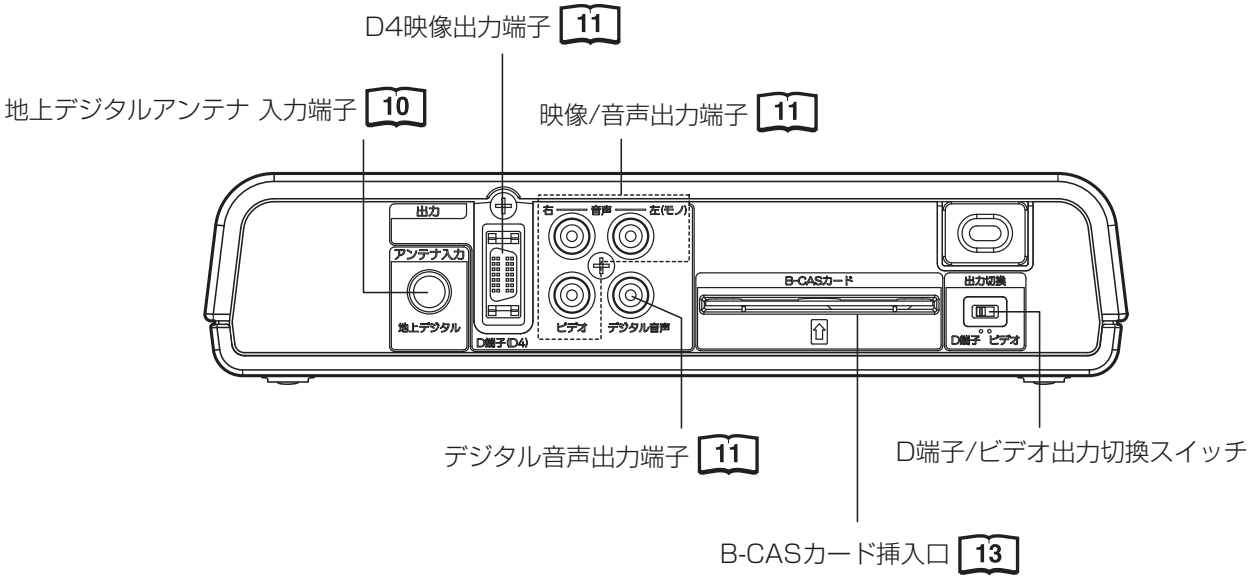
**周波数変更情報について**
アナログ放送の停止などにより、デジタル放送の周波数が変更された場合、周波数変更情報のメールを受信することがあります。

# 各部のなまえ

## 前面




## 背面



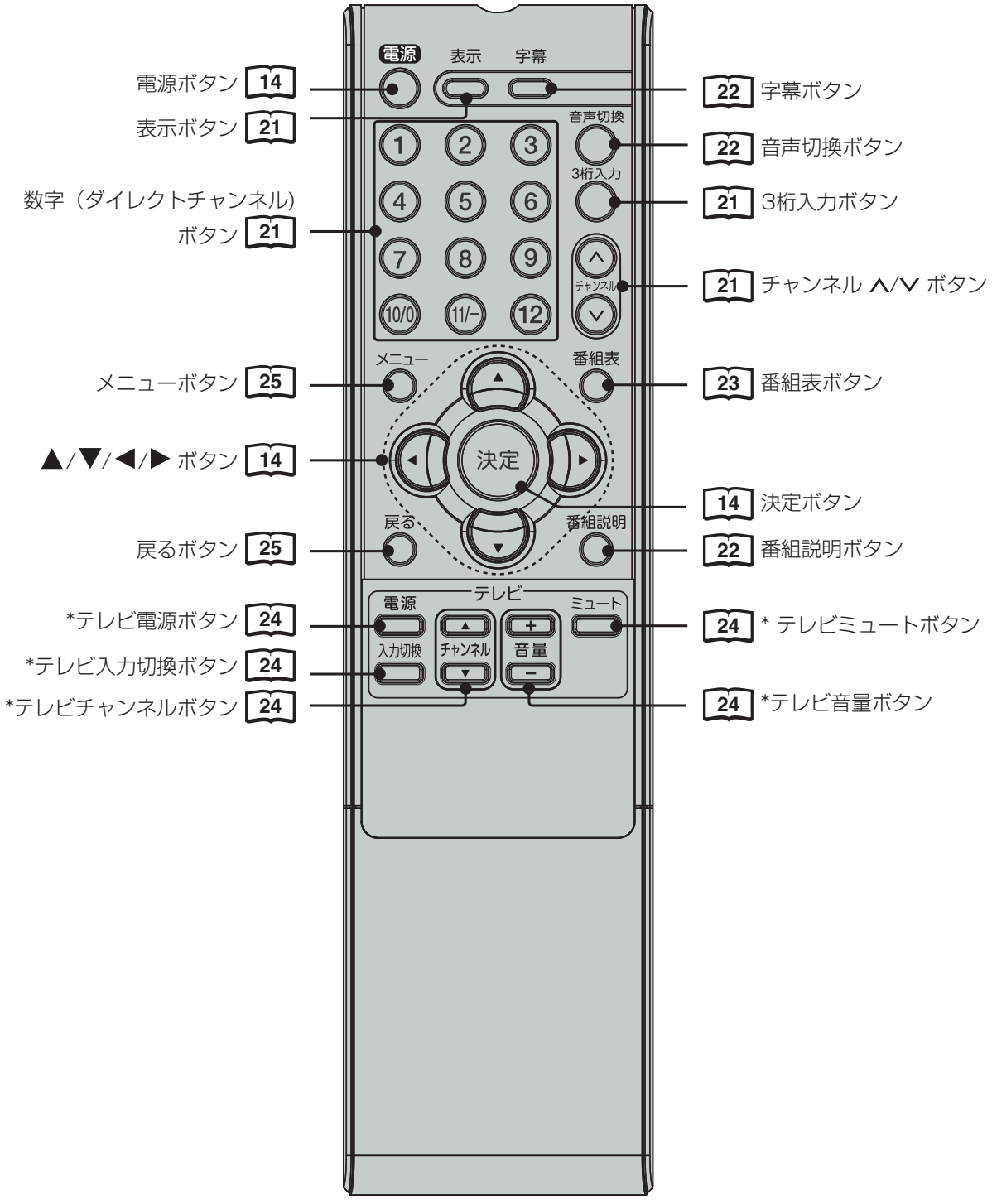

## 映像出力の設定




ビデオ、もしくはD端子のどちらか一方からしか映像出力ができません。
本機背面の「出力切換スイッチ」で、映像をビデオかD端子のどちらから出力するかを切換えます。

# リモコンについて

＊📖内の数字は参照ページです。

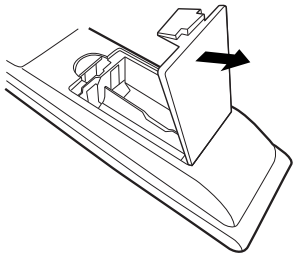



*マルチリモコン機能を設定すると、本機のリモコンでお使いのテレビを操作することができます。
（２４ページの「マルチリモコン機能」を参照してください）

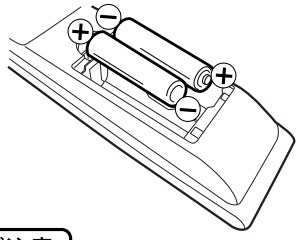
## リモコンに乾電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス側を先に入れてください。

**1** **電池ぶたをはずす**
電池ぶたを押しながら矢印の方向に開きます。



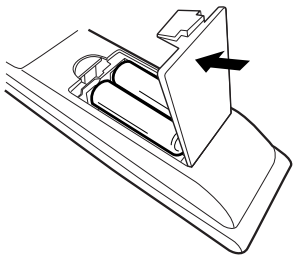
**2** **乾電池を入れる**
付属の乾電池を、リモコンの内部に書かれてある ⊕/⊖ の表示どおりに入れる。



ご注意

極性（ ⊕/⊖ ）を間違えないように入れてください。

**3** **電池ぶたを閉める**
電池ぶたを矢印の方向に戻します。



ご注意

操作しにくくなったら2本とも電池を交換してください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池はふつうの使い方で6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったら交換してください。

## 乾電池の取扱いについて

- 乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂するおそれがありますので次のことをお守りください。

**⚠警告**
- 火中へ投入、加熱、分解しない
- ショートさせない
- 充電しない

**⚠注意**
- ( ⊕/⊖ ) の表示どおりに入れる
- 指定以外の電池を使わない
- 種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 使い切った電池はすぐに取り出す
- しばらく使わないときは取り出しておく

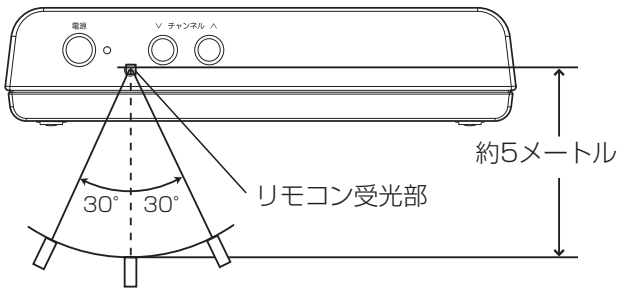
**万一液漏れしたら**
- 液をよくふき取る
- 液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流す

ご注意

破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## リモコンの正しい使いかた

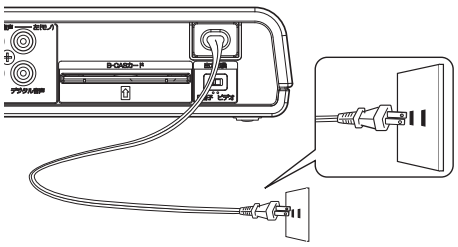
- 本機前面のリモコン受光部の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲でお使いください。




**正しく動作させるために**

次のような場合、リモコンが誤作動したり、働かないことがあります。
- 本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光部に直射日光などの強い光があたったとき

## 電源について



| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。 |
| ⚠ 注意 | ● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 |

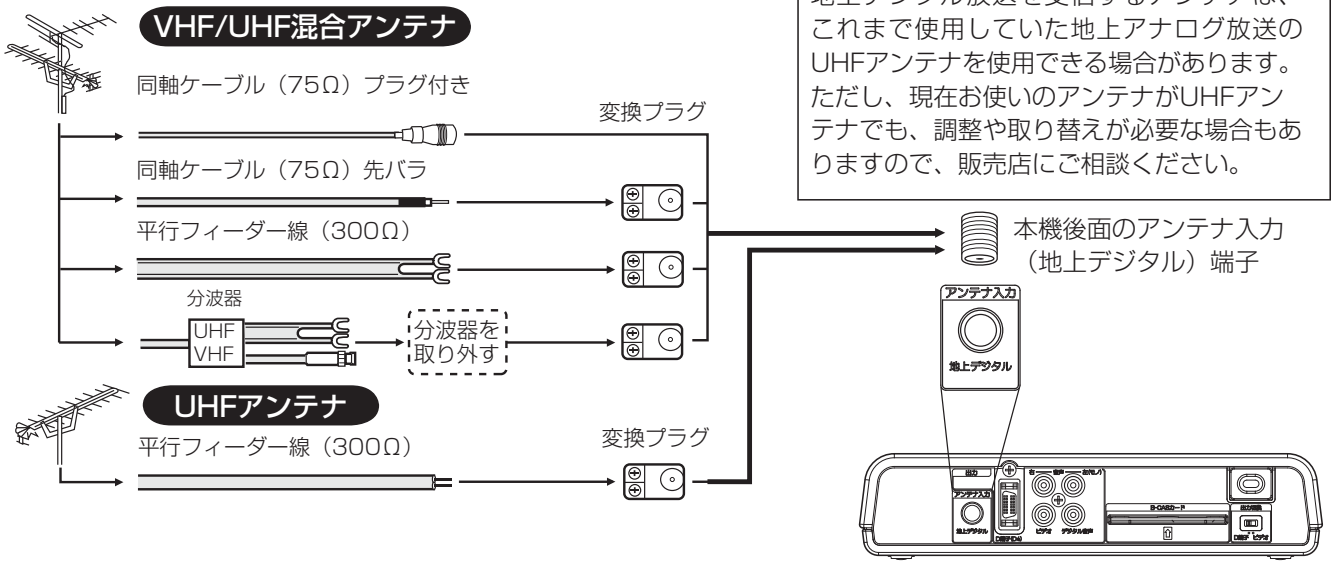
# アンテナのつなぎかた

ご使用になるアンテナ線の種類により、接続の方法が異なります。アンテナ線の種類により市販品の変換プラグを取り付け本機と接続します。アンテナをつなぐときは、かならず電源を切ってください。

※テレビ内蔵のチューナーで地上アナログ放送をご覧いただく場合は、アンテナ線を分配器（市販品）などで、本機とテレビにそれぞれ接続してください。

**ご注意**

地上デジタル放送を受信するアンテナは、これまで使用していた地上アナログ放送のUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、現在お使いのアンテナがUHFアンテナでも、調整や取り替えが必要な場合もありますので、販売店にご相談ください。




- フィーダー線付変換プラグなどが、すでにケーブルに付いている場合は、プラグを根元から取り外し、市販品の変換プラグを取り付けるか、販売店にご相談ください。

## ■同軸ケーブルの芯線の出しかた

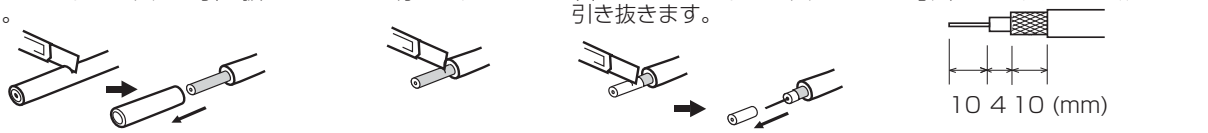
### 3C-2V

❶カッターですじを入れて引き抜きます。 ❷アミを折り返します。 ❸白のビニールにすじを入れて引き抜きます。 ❹寸法をチェックしてください。




### 5C-2V

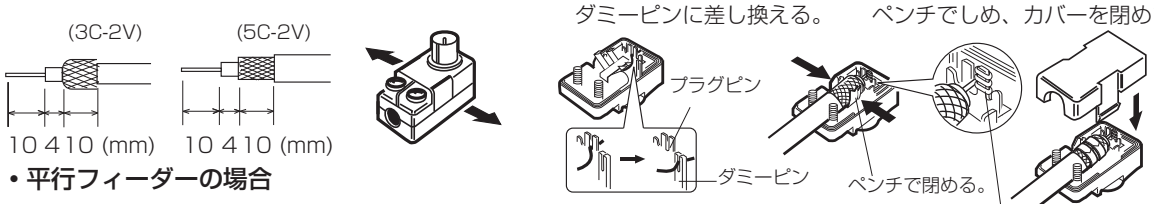
❶カッターですじを入れて引き抜きます。 ❷アミを切ります。 ❸白のビニールにすじを入れて引き抜きます。 ❹寸法をチェックしてください。




## ■変換プラグの取り付けかた

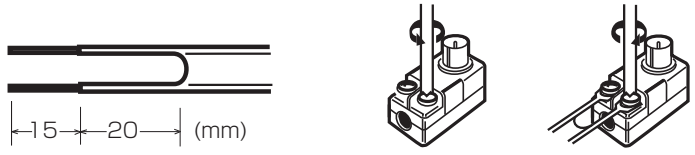
**• 同軸ケーブルの場合**

❶加工します。 ❷カバーをはずします。 ❸リード線をプラグピンからダミーピンに差し換える。 ❹同軸ケーブルを取り付けます。ペンチでしめ、カバーを閉めます。




**• 平行フィーダーの場合**

❶加工します。 ❷ネジをゆるめます。 ❸しっかり締め付けます。




**⚠ 注意** | アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

# テレビとの接続

## 接続する前に

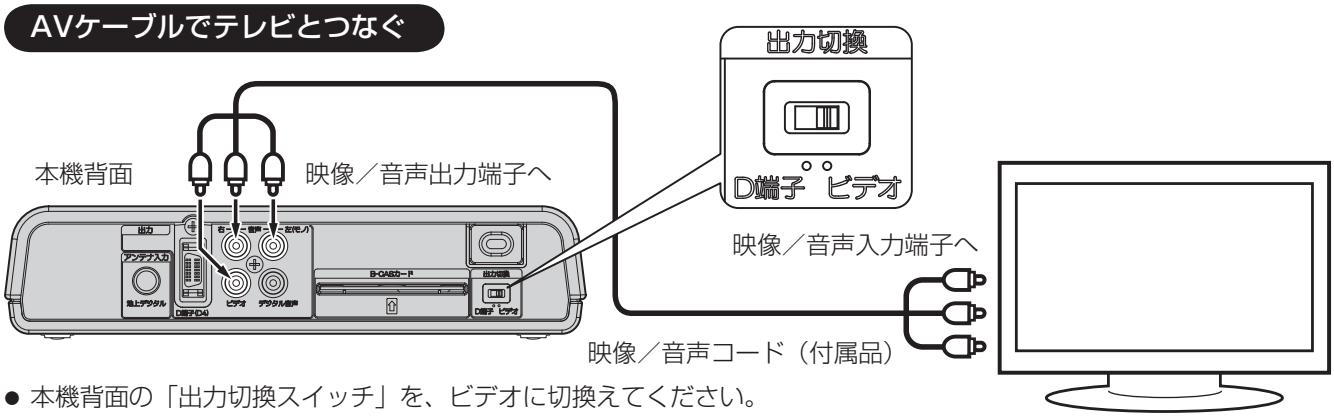
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を入れたままの接続は、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 接続するプラグは、各機器にしっかり差し込んでください。差し込みが不完全ですと、雑音が発生する恐れがあります。

## 推奨接続環境

- ブラウン管テレビ　　～32ワイド画面テレビ
- ハイビジョン液晶テレビ　　～22ワイド画面テレビ

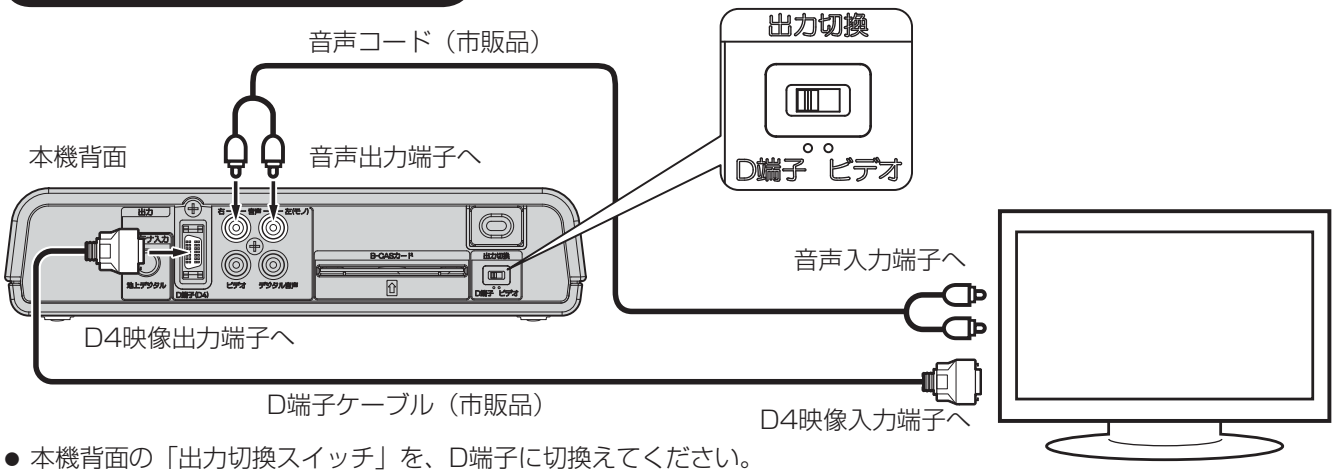
※ご使用の環境により、画質や画面サイズが異なります。

## AVケーブルでテレビとつなぐ




- 本機背面の「出力切換スイッチ」を、ビデオに切換えてください。

## D端子ケーブルでテレビとつなぐ

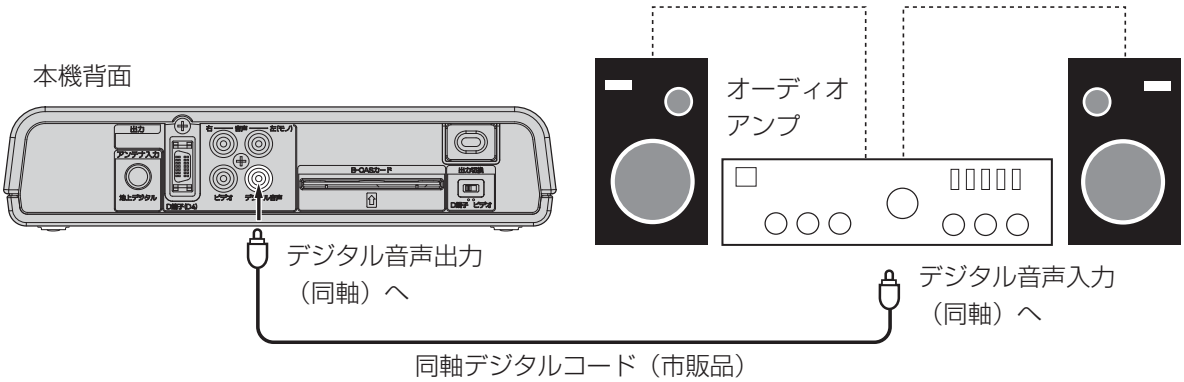



- 本機背面の「出力切換スイッチ」を、D端子に切換えてください。

## オーディオシステムと接続する

MPEG-2 AAC対応のAVアンプと接続すると、デジタル放送の5.1chサラウンドを楽しむことができます。

- お買い上げ時のデジタル音声出力のフォーマットは「PCM」に設定されています。5.1chサラウンドを楽しむときには、設定を変更してください。（27ページの「デジタル音声設定」を参照してください）
- 本機からは地上デジタル放送の音声信号しか出力いたしません。
- 著作権が保護されている番組では、デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

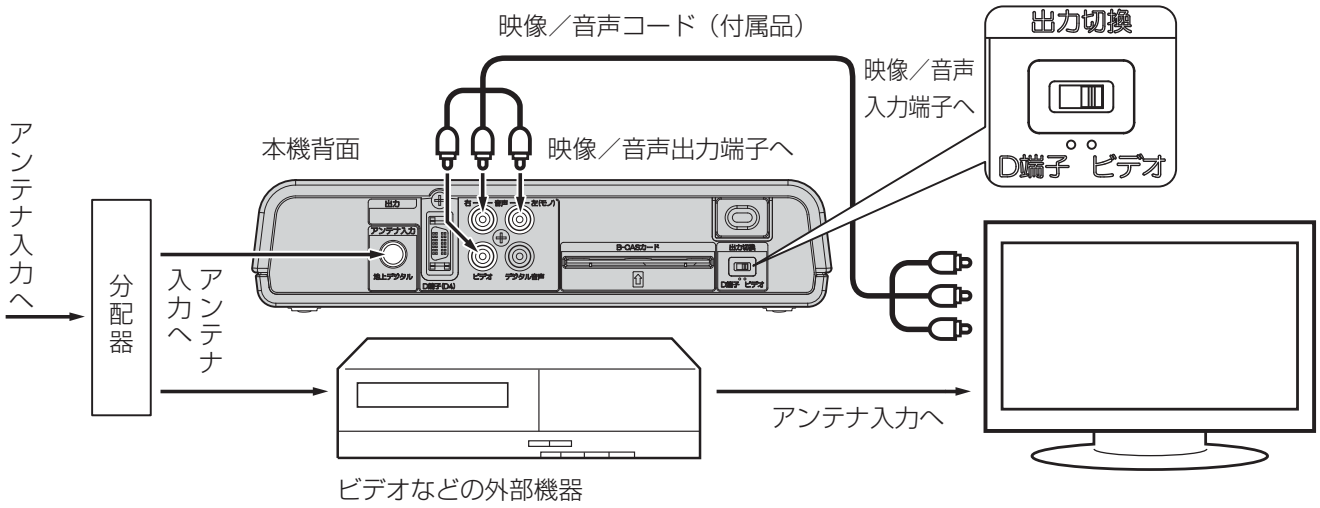



準備

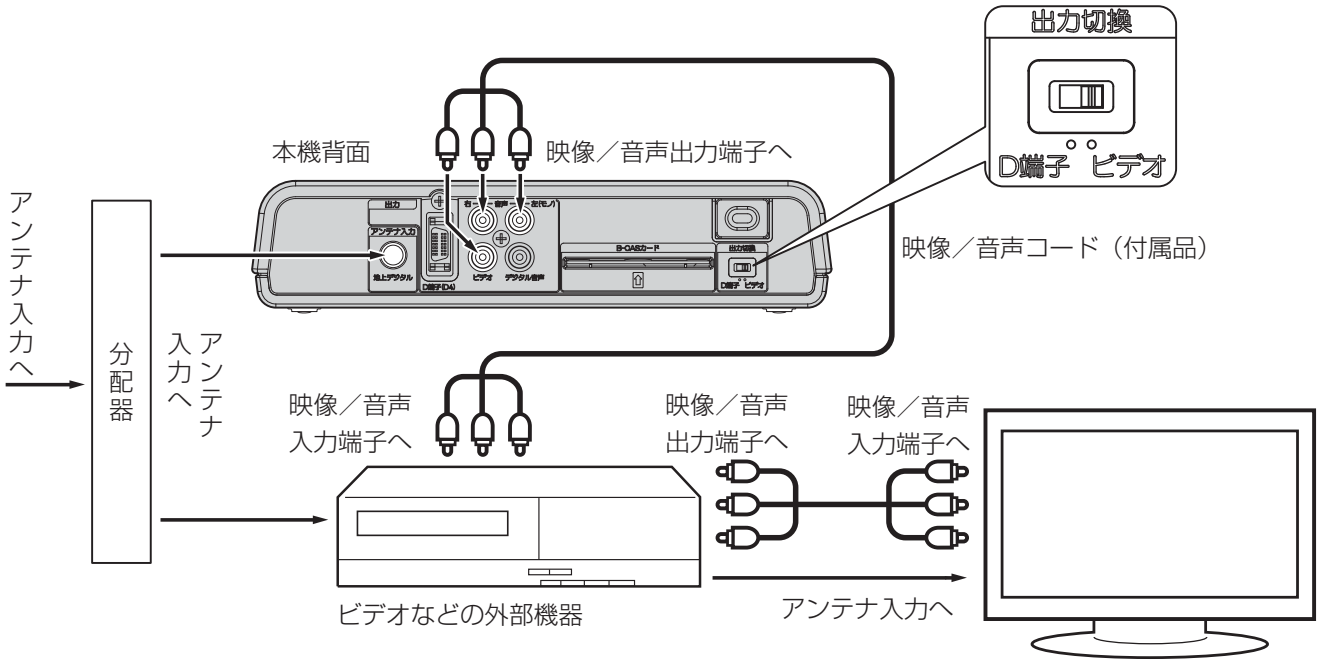
# テレビとの接続 （つづき）

## 外部機器とつなぐ

ビデオなどの外部機器と接続する場合は、以下のように接続することをおすすめします。



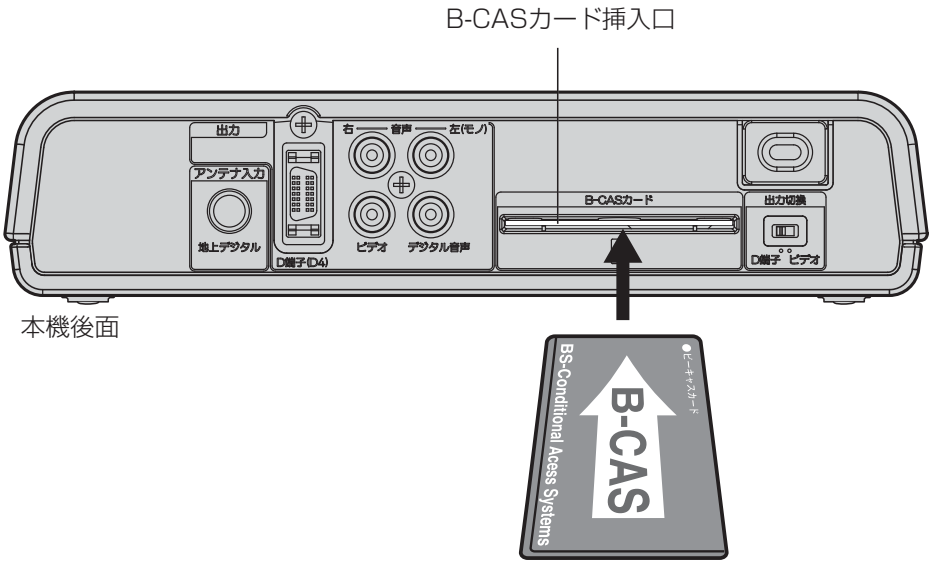

受信番組を録画したい場合は、以下のように接続することをおすすめします。
※デジタル放送を視聴する場合、ビデオなどの外部機器の電源を入れる必要があります。




※著作権保護された番組を映像機器に送った場合、著作権保護のための機能が働き、画質が劣化する／視聴できない／録画できないなどの問題が起こることがあります。著作権保護された番組は、テレビと直接つないでご覧ください。
※本機から外部機器を通して録画した場合、本機のチャンネルを切替えると外部機器の録画映像も替わる事があります。
※本機から外部機器を通して録画再生した場合、画面の上下左右に黒い帯が生じる事があり事前に出力設定を行う必要があります(28ページの「ビデオ出力設定」を参照してください)。

# B-CASカードの挿入

デジタル放送を視聴する場合には、必ずB-CASカードを挿入してください。B-CASカードは、 放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。




B-CASカードの挿入時は、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入する。
絵表示が見える面を本機上面側にして、B-CASカード表面の矢印の向きを挿入口に合わせ、奥までゆっくりと押し込んでください。

準備

### B-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりB-CASカードを抜いてください。
B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

### B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには１枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。
B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。
「(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。

### B-CASカード取り扱い上の留意点

・B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
・B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
・B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
・B-CASカードのＩＣ（集積回路）部には手をふれないでください。
・B-CASカードの分解加工は行わないでください。
・ご使用中にB-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
・B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
・裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。
・カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

メモ

B-CASカードについてのお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
ＴＥＬ　0570ー000ー250

# はじめての設定のしかた

**最初に電源を入れたときは、自動的に「はじめての設定」が表示されます。**




メモ

- ビデオ出力設定の詳細については28ページをご確認下さい。

メモ

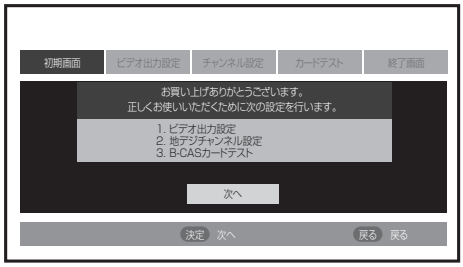
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。本機は、パススルー方式のすべての周波数に対応しています。
- 初めてコンセントを入れ使用するときは、低消費電力モードに設定されているため、電源ランプは点灯しません。
  低消費電力モードについては22ページをご確認ください。

**準備**

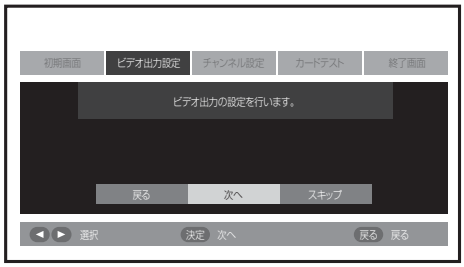
- アンテナを正しく接続してください。
- 接続したテレビのチャンネルを外部入力に合わせてください。
- B-CASカードを本機に挿入してください（13ページの「B-CASカードの挿入」を参照してください）。

**1** **電源**で電源を入れる。
電源ランプが緑に点灯します。

**2** 「はじめての設定」が表示されます。
画面の内容を確認したあと**決定**を押す。



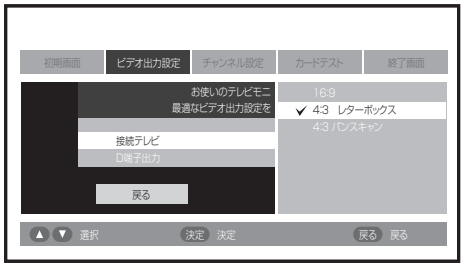

**3** 画面の内容を確認したあと、◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。




**4** ▲/▼で「接続テレビ」を選び、**決定**を押す。




**5** ▲/▼でお使いのテレビモニターに最適な設定を選び、**決定**を押す。




**6** ▲/▼で「D端子出力」を選び、**決定**を押す。

- テレビとAVケーブルで接続している場合は、ステップ8に進んでください。





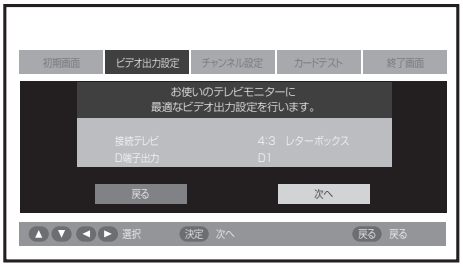

**7**

▲/▼でお使いのテレビモニターに最適な設定を選び、**決定**を押す。




**8**

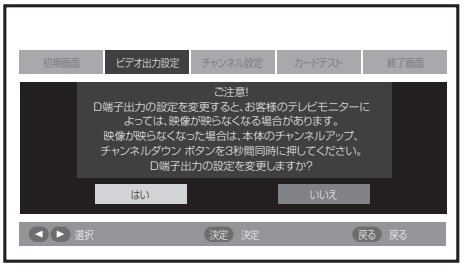
▲/▼/◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。




**9**

◀/▶で「はい」を選び、**決定**を押す。ビデオ出力設定が反映されます。

- D端子出力を設定していなくても、「はい」を選択してください。




**10**

◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。




**11**

画面の内容を確認したあと、◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。




**12**

▲/▼で「地域設定」を選び、**決定**を押す。

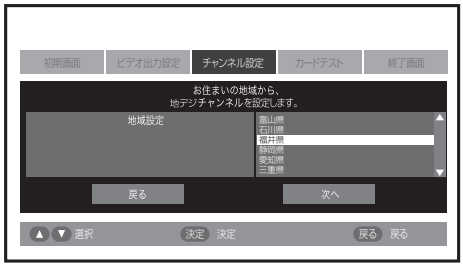



準備

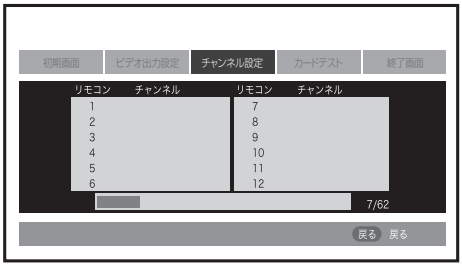
# はじめての設定のしかた （つづき）



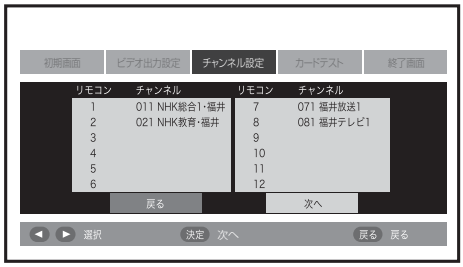

**13** ▲/▼でお住まいの地域を選び、**決定**を押す。




**14** ▲/▼/◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。
スキャンが行われます。
目盛りが右端まで到達したら、スキャン完了です。




スキャン完了後、自動的にスキャンされたチャンネルがリスト表示されます。

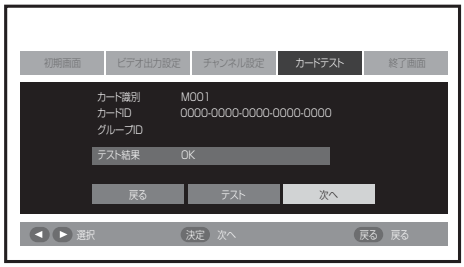



**15** ◀/▶で「次へ」を選び**決定**を押す。

**16** ◀/▶で「テスト」を選び、**決定**を押す。
B-CASカードのテストが行われます。




**17** テストが終わったら◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。
- 「NG」と表示された場合は、カードが正しく挿入されているか確認してください。




**18** 画面の内容を確認したあと、**決定**を押す。
これではじめての設定は終了です。
通常の画面に戻ります。




メモ

**はじめての設定を再度行いたい場合は...**
1. **メニュー**を押してメニュー画面を表示させる。
2. ◀/▶を押して「チャンネル設定」を選ぶ。
3. ▲/▼を押して「はじめての設定」を選び、**決定**を押す。

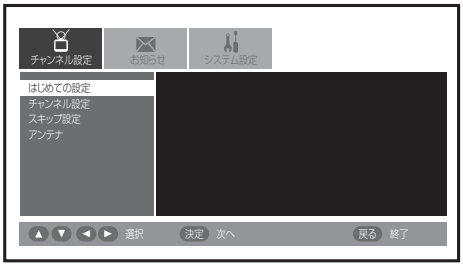
# アンテナの設定のしかた

**地上デジタル放送のアンテナの向きは、受信状態を見ながら調整する必要があります。**
**すでに映像が正常に映る場合は、本設定は不要です。**



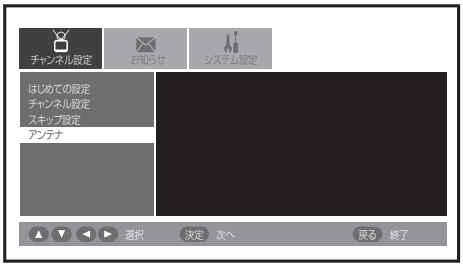

## 1

**メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。



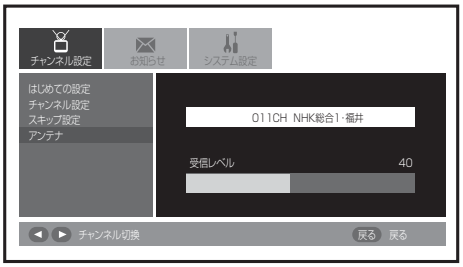

## 2

▲/▼で「アンテナ」を選び、**決定**を押す。
アンテナ設定画面が表示されます。



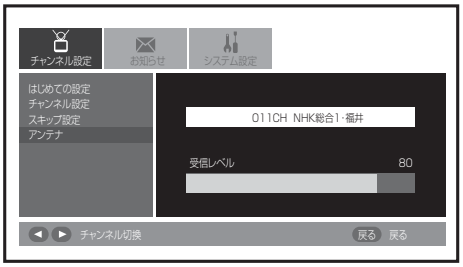

## 3

◀/▶で受信できるチャンネルを選ぶ。




## 4

アンテナの調整をします。
アンテナレベルが一番大きくなるところにアンテナを調整してください。




- アンテナレベルの目安
  50以上の値を満たすよう調整してください。

## 5

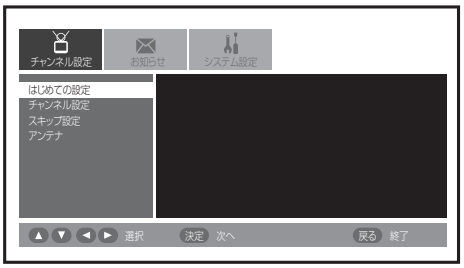
調整が終わったら、**メニュー**を押して通常の画面に戻す。
(**戻る**をくり返し押しても通常の画面に戻ります。)

# 受信チャンネルの変更

すでに設定してある受信チャンネルの設定を変更します。




**1** **メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。

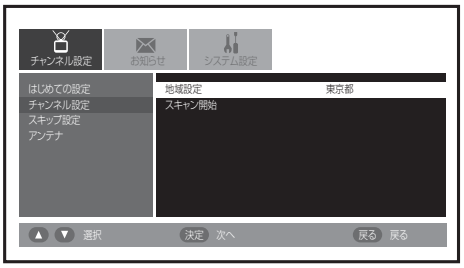



**2** ▲/▼ で「チャンネル設定」を選び、**決定**を押す。

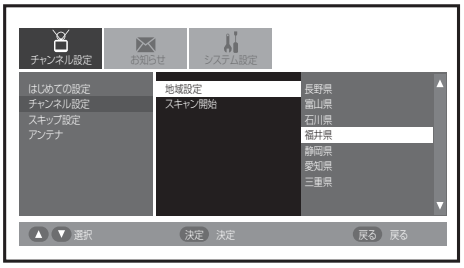
**3** ▲/▼ で「地デジスキャン」を選び、画面の内容を確認したあと、**決定**を押す。



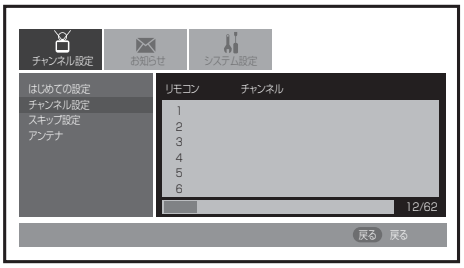

**4** ▲/▼ で「地域設定」を選び、**決定**を押す。




**5** ▲/▼でお住まいの地域を選び、**決定**を押す。




**6** ▲/▼ で「スキャン開始」を選び、**決定**を押す。
スキャンが行われます。
目盛りが右端まで到達したら、スキャン完了です。






スキャン完了後、自動的にスキャンされたチャンネルがリスト表示されます。




- チャンネルをお望みのリモコン番号に入れるには
  ▲/▼でチャンネルを選び、**決定**を押します。
  ▲/▼で入れ替えたいチャンネルを選び、**決定**を押すと入れ替わります。
- チャンネルを削除するには
  ▲/▼でチャンネルを選び、**決定**を押します。
  ▲/▼でリストの一番下の「ーーー削除」を選び、**決定**を押します。
  チャンネルがリストから削除されます。

**7**

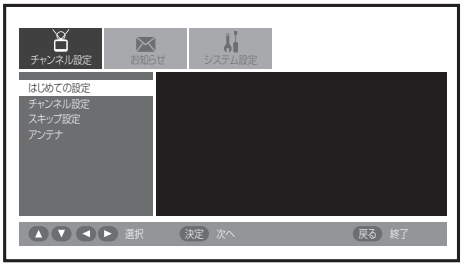
**8** 設定が終わったら、**メニュー**を押して通常画面に戻す。

# 受信チャンネルの変更 （つづき）

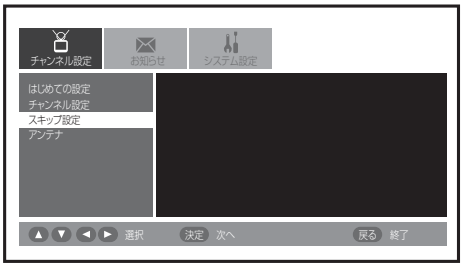
リモコンまたは本体のチャンネル∧/∨ボタンでの選局時にチャンネルをスキップすることができます。




**1** **メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。




**2** ▲/▼ で「スキップ設定」を選び、**決定**を押す。




**3** ▲/▼ でスキップしたいチャンネルを選び、**決定**を押す。

- 受信に戻すときは、もう一度**決定**を押してください。




**4** 設定が終わったら、**メニュー**を押して通常画面に戻す。

# テレビを見る

**準備ができたらすぐにテレビを見ることができます。リモコンで離れたところから操作できます。**




**ご注意**

- 本機の電源はテレビの電源と連動していません。テレビを視聴しないときは、テレビと本機の電源を切ってください。
- リモコンの**電源**で電源を切っても、約2ワットの電気を使っています。長期間の外出やご旅行のときなどは、安全と節電のために電源プラグを抜いてください。
- デジタル放送受信中、チャンネルを切り替えた後にチャンネル表示が出るタイミングで、一瞬音声が途切れることがありますが、チャンネルデータの取得処理によって起こるものであり、故障ではありません。

## 1

**電源**で電源を入れる。
電源ランプが緑に点灯します。
**テレビの入力を接続した外部入力に合わせてください。**
前に見ていたチャンネルが映ります。
押すごとに電源を入/ 切できます。

## 2

**ダイレクトチャンネルボタン**（1〜12）でチャンネルを選ぶ。
画面上部に選んだチャンネル情報が表示されます。
**チャンネル**Λ/Vでも選べます。




押すごとに、チャンネルが設定されている順に1つずつ変わります。押し続けると連続して変わります。

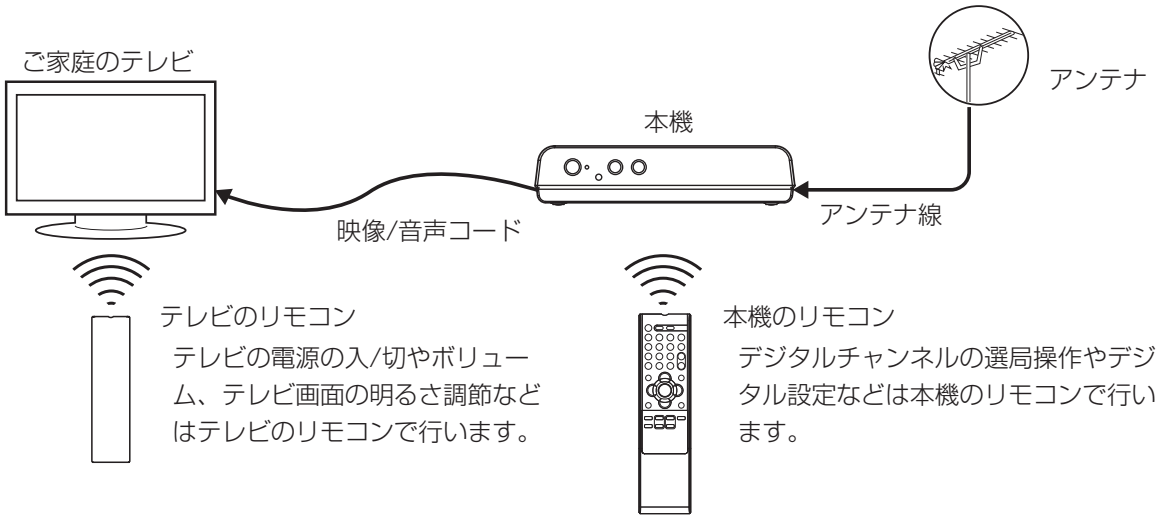
- **3桁チャンネルで選局するには**
  **3桁入力**を押して次に**数字ボタン（0〜9）**でチャンネル番号を押します。
  例　011チャンネル「10/0」、「1」、「1」を押す。
- **枝番が付いているチャンネルを選局するには**
  **3桁入力**を押してはじめの3桁（主番号）を入力したあと、「11/−」を押し、残りの番号を入力することができます。
  例　011-01チャンネル「10/0」、「1」、「1」「11/−」、「1」を押す。

### チャンネル番号を表示したいとき

**表示**を押す。

- チャンネル番号とチャンネル名、番組名と開始・終了時刻、日付、時間が表示されます。もう一度押すと表示は消えます。
- 番組名が２６文字以上の場合、「. . .」表示になるので、番組説明をご覧ください。

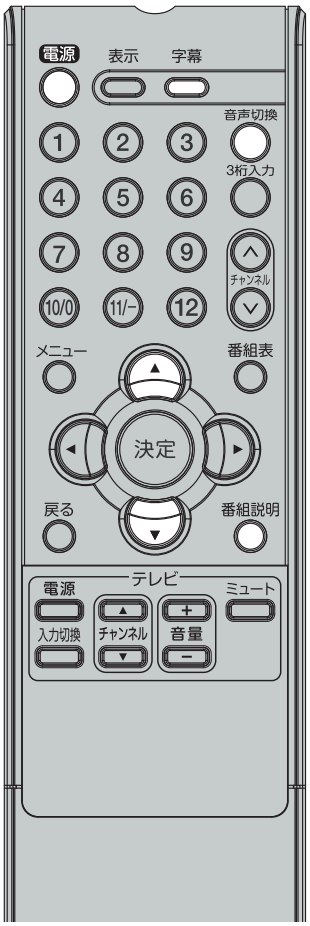
**デジタル放送のチャンネルを切り換える時は、テレビのリモコンではなく本機のリモコンでの操作が必要です！**




※ 本機はテレビの外部入力端子に接続して地上デジタル放送を楽しむ仕様です。
テレビ側は常に本機と接続した外部入力画面にしておく必要が有ります。
テレビ機能の外部入力切換などの操作により外部入力画面に固定してください。

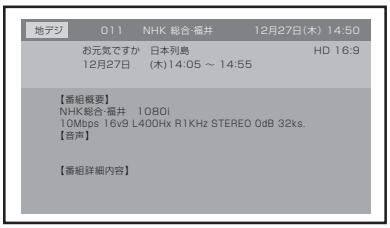
- テレビのチャンネルを切換えても地上デジタル放送映像は映りません。
- テレビに外部入力が複数あり、どの外部入力かが分かりにくい場合は、本機をテレビと接続し、本機電源を入れた状態でテレビの外部入力を切換えて、映像が映る外部入力を探してください。
- マルチリモコン機能を設定すると、本機のリモコンでお使いのテレビを操作することができます。（２４ページの「マルチリモコン機能」を参照してください）

# テレビを見る （つづき）




## 番組情報を見る

番組を視聴中に**番組説明**を押す。
番組詳細情報が表示されます。
▲/▼ で画面に入りきらない情報を表示することができます。
番組詳細情報を閉じたいときは、**番組説明**を押します。




## ステレオ、音声多重放送について

**音声切換**を押すと、今見ている放送の音声モードが画面に表示されます。
**例）**

非音声多重放送受信時




音声多重放送受信時




2つ以上の音声を含む放送受信時




- 複数の音声がある場合は**音声切換**を押して音声を切換えることができます。

**音声多重放送を受信しているとき**

「主+副」（主音声と副音声） → 「主」（主音声のみ） → 「副」（副音声のみ） →

**2つ以上の音声を含む放送を受信しているとき**

→「音声1」→「音声2」→「音声3」→ ··· →

- デジタル放送では、ステレオをモノラルに切り換えることはできません。
- 受信する放送によって音声表示が異なる場合があります。

## 字幕を切り換える

**字幕**を押すと、字幕の表示/非表示を切換えることができます。（字幕放送受信時のみ切換が可能です。）

→オフ→日本語→英語 →

## 低消費電力モード

本体の**電源**を1秒以上押して電源を切ると、低消費電力モードになり、電源ランプが消灯します。

低消費電力モードで**電源**を押し、電源を入れた場合、通常のモードと比べ、映像が表示されるまでに時間がかかります。
（映像が表示されるまでの間は、電源ランプが緑に点滅します。）

- 初めてコンセントを入れ使用するときは、低消費電力モードに設定されているため、電源ランプは点灯しません。

メモ

**音声多重放送とは**

**たとえば、洋画番組の二重音声放送時、日本語に吹き替えられる音声を主音声、外国語のままの音声を副音声といいます。放送によっては、主音声が外国語の場合もあります。**

メモ

- 電源を切り通常モードにしたあとに、ACコードを抜き挿しすると、低消費電力モードになります。(電源ランプは点灯しません。)

ご注意

- 生放送や番組内容により字幕が大幅に遅れたり早く消える場合がありますが、故障ではありません。

# 番組表をつかう




## 番組表を表示する

デジタル放送受信時に**番組表**を押すことで、テレビ番組表が表示されます。
番組表を表示中に再度**番組表**を押すと、番組表全サービスを表示します。番組表および番組表全サービスを表示中に、▲/▼ /◀/▶ を使い、番組を選び**番組説明**または**決定**を押すと、番組情報を表示します。**戻る**で番組表画面に戻ります。
現在放送されている番組を選び、**決定**を押すと、選んだ番組にかわります。
※番組表情報をダウンロードするには、多少時間がかかることがあります。

番組表(EPG)




14分以下の番組の場合、テレビ番組表に番組名が表示されませんので、番組説明を表示して番組名を確認してください。

## 前後一日の番組表を確認する

番組を表示中に、**1ボタン**を押すと、前日(24時間前)までの番組表が表示されます。(過去の番組表は表示できません。)
**2ボタン**を押すと、翌日(24時間先)までの番組表が表示されます。
**戻る**で番組表画面に戻ります。(7日分の番組表が確認できます。)

## 定時ダウンロード機能

毎日AM2時頃に全チャンネルの1週間分の番組表(EPG)データを取得します。
※ 本機を初めて使用する場合、番組表(EPG)データが取得されていないため、番組表(EPG)を表示するまで時間がかかることがあります。

メモ

番組表(EPG)全サービスとは、1つの放送局が複数の放送をしている場合の番組表を表示する機能です。

# マルチリモコン機能

本機付属のリモコンには、お使いのテレビを操作できる便利な機能がついています。




## リモコンの設定方法

下の表1を参照し、お使いのテレビの設定番号を確認します。
リモコン本体中央の「テレビ」と書かれた枠内の**電源**を押しながら、**ダイレクトチャンネルボタン**（0－9）で2桁の数字を入力し、設定します。

## テレビのリモコン操作について

**電源**でテレビの電源の入／切をします。
**入力切換**で外部機器の入力を切り換えます。
**チャンネル** ▲/▼ でご使用のテレビのチャンネルを切り換えます。
**音量+/−**でテレビの音量を調節します。
音だけを消したいときには、**ミュート**を押します。もう一度押すと元の音量に戻ります。**音量+/−**を押しても音が出ます。

**表1：リモコン設定番号一覧**

| ブランド名 | 設定番号 |
|---|---|
| ORION1 | 01 |
| ORION2 | 02 |
| ORION3 | 03 |
| ORION4 | 04 |
| ORION5 | 05 |
| Raphaie | 06 |
| Panasonic1 | 07 |
| Panasonic2 | 08 |
| SHARP1 | 09 |
| SHARP2 | 10 |
| SHARP3 | 11 |
| SONY1 | 12 |
| SONY2 | 13 |
| TOSHIBA1 | 14 |
| TOSHIBA2 | 15 |
| TOSHIBA3 | 16 |
| HITACHI | 17 |
| MITSUBISHI1 | 18 |
| MITSUBISHI2 | 19 |
| MITSUBISHI3 | 20 |
| SANYO1 | 21 |
| SANYO2 | 22 |
| SANYO3 | 23 |
| Pioneer1 | 24 |
| Pioneer2 | 25 |
| JVC1 | 26 |
| JVC2 | 27 |
| JVC3 | 28 |
| Funai1 | 29 |
| Funai2 | 30 |
| Funai3 | 31 |
| Funai4 | 32 |
| Funai5 | 33 |
| Funai6 | 34 |
| AIWA1 | 35 |
| AIWA2 | 36 |
| AIWA3 | 37 |
| AIWA4 | 38 |

# メニュー画面の操作方法

**ここでは本機の設定をするための基本的な操作方法を説明します。各項目の詳細については次ページ以降をご覧ください。**



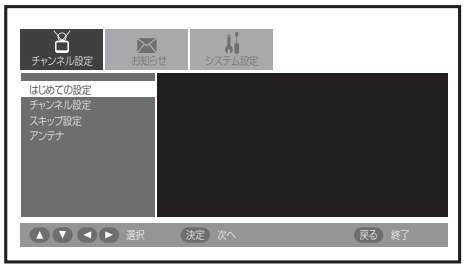

**準備**

- リモコンまたは本体の**電源**を押して、電源を入れます。
- 電源ランプが緑に点灯します。

**たとえば、**字幕の設定をする。

**1**

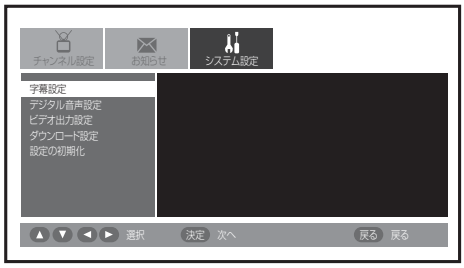
**メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。




**2**

**1** ◀/▶で「システム設定」を選ぶ。

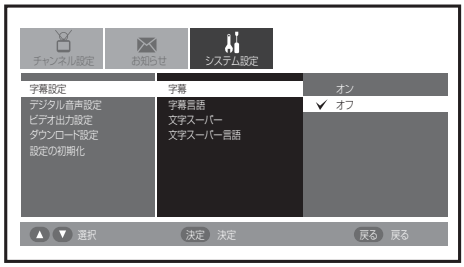
**2** ▲/▼で「字幕設定」を選び、**決定**を押す。




**3**

**1** ▲/▼で「字幕」を選び、**決定**を押す。

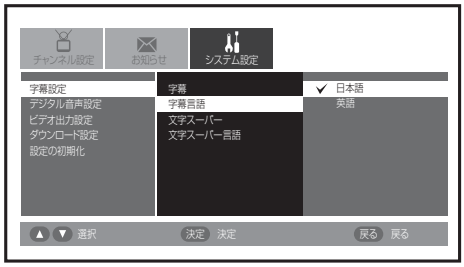
**2** ▲/▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す。




**4**

**1** ▲/▼で「字幕言語」を選び、**決定**を押す。

**2** ▲/▼で言語を選び、**決定**を押す。




**5**

設定が終わったら、**メニュー**を押して通常画面に戻す。

メモ

- **戻る**を押すと、それぞれひとつ前のメニュー画面に戻ります。

# メニュー項目の詳細

チャンネル設定

## チャンネル設定

14～20ページをご覧ください。

お知らせ

## お知らせ

### 受信メール

「メール」はファームウェアの更新やチャンネルの周波数変更情報があるときなどにお客様へ送られるメッセージです。内容を必ず確認してください。
▲/▼ で読みたいメールを選択し、**決定**を押すと内容が表示されます。
メールは10通まで記録されます。10通を超えた場合、古いメールから削除されていきます。

### B-CASカード

本機に挿入されているB-CASカードの情報と、カードのテストをおこなうことができます。
**決定**を押すとテストが開始されます。テスト後「OK」と表示されれば、カードに問題はありません。もし、「NG」と表示された場合は、カードが正しく挿入されているかを確認してください。

### ソフトウェア情報

ファームウェア（内部のソフトウェア）情報を表示します。

システム設定

## 字幕設定

### 字幕

字幕放送時の字幕のオン/オフの設定をおこなうことができます。「オン」に設定すると、字幕放送視聴時に字幕が表示されます。

- 放送によっては、「オン」に設定しても字幕が表示されない場合があります。
- 字幕とは、字幕放送の映画やドラマ等で表示される字幕のことです。
- 字幕の設定は、リモコンの**字幕**を押すことによっても変更することができます。

→オフ→日本語→英語

- 映像自体に字幕が表示されている場合は、「オフ」に設定しても字幕が表示されます。

ご注意

- 字幕について、放送信号や処理の速度によって、多少の遅れや早く消えたりすることがありますが、故障ではありません。

### 字幕言語

字幕放送時の字幕の言語の設定をおこなうことができます。「日本語」または「英語」が選択できます。

### 文字スーパー

文字スーパーの表示/非表示の設定をおこなうことができます。「オン」に設定すると、文字スーパーが表示されます。

- 文字スーパーとは、ニュース速報などの文字情報のことです。
- 非表示選択中でも文字スーパーが表示されることがあります。
- 映像自体に文字スーパーが表示されている場合は、「オフ」に設定しても文字スーパーが表示されます。

### 文字スーパー言語

文字スーパーの言語の設定をおこなうことができます。「日本語」または「英語」が選択できます。

## デジタル音声設定

### デジタル音声出力

本機からデジタル音声出力をする場合のデジタル信号の種類を選択します。

**AAC** AAC対応のデジタルアンプ等を接続している場合は、こちらを選択してください。
デジタル放送の音声の場合は、AACでそのまま出力されます。
放送によっては、PCMで出力される場合があります。

**PCM** PCMのみ対応のデジタルアンプ等を接続している場合は、こちらを選択してください。
AACの音声も、PCMに変換されて出力されます。

お使いのデジタルアンプ等の外部機器に合わせて設定を変更してください。
デジタルアンプ等の外部機器の詳細については各外部機器の取扱説明書をご覧ください。

## ダウンロード設定

### ダウンロード

- 本機は、地上デジタル放送を利用して、ファームウェア（内部のソフトウェア）を書き換えて、最新の状態にすることができます。
- 通常は「自動」に設定してください。

**自動** 本機がスタンバイ状態の時に、自動的に更新します。

**手動** 自動的に更新しません。メールにて通知がありますので、必要に応じて手動で更新します。 メールの内容にしたがって、ファームウェアのダウンロードを行ってください。

- ファームウェアのダウンロード/更新中は、電源をコンセントから抜かないでください。また、B-CASカードを抜かないでください。製品が故障する原因となります。
- ファームウェアのダウンロードには、約10 ～ 20 分かかります。
- ファームウェアのダウンロード予約がある場合に電源を切ると、通常モードになります。
- ファームウェアのダウンロードを実施した場合、設定が変更されることがあります。
- ファームウェアのダウンロード中に電源を入れると、画面が表示されるまで、20秒から60秒かかる場合があります。

## 設定の初期化

### 設定の初期化

本機のさまざまな設定を工場出荷時の状態に戻します。
「お客様が操作したすべての設定を初期化します。続けますか？」というメッセージが表示されます。**決定**で設定を初期化します。
初期化しない場合は、**戻る**を押します。

- 設定の初期化を実行すると、「はじめての設定」が表示されます。

### メールの初期化

「メールを初期化します。続けますか？」というメッセージが表示されます。**決定**を押すと受信したメールがすべて削除されます。
初期化しない場合は、**戻る**を押します。

システム設定

## ビデオ出力設定

### 接続テレビ

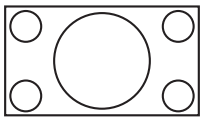
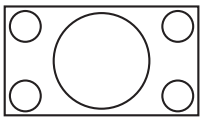
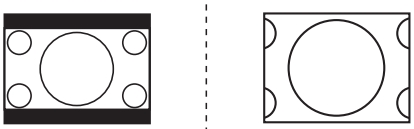
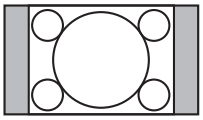
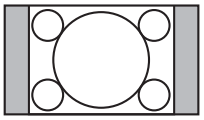
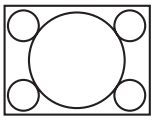
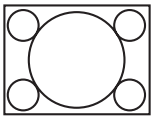
接続するテレビの画面サイズに合わせて、画面の表示方法の設定を行ないます。

- 4：3画面テレビと接続したときは、「4：3 レターボックス」または「4：3 パンスキャン」を選択してください。

**16：9** ワイド画面テレビと接続しているときに選択します。

**4：3 レターボックス** 4：3画面テレビと接続しているときに選択します。
テレビ画面の上下に黒い帯を付けて、16：9の映像を4：3の画面で表示します。

**4：3 パンスキャン** 4：3画面テレビと接続しているときに選択します。
16：9の映像の左右を切り取って、4：3の画面全体で表示します。

| 放送画像 | ビデオ出力設定 | | |
|---|---|---|---|
| | 16:9 | 4:3 レターボックス | 4:3 パンスキャン |
| 16:9の放送 |  |  |  |
| 左右に黒い帯のある16:9の放送 |  |  または  |  |

※「16：9」はワイド画面テレビ、「4：3　レターボックス」及び「4：3　パンスキャン」は4：3画面テレビに接続したイメージで記載しています。
テレビ側の画面比率や画面サイズなどの設定によっては、表示方法が異なる場合があります。
また、デジタル放送では16:9 だけでなくさまざまな画面サイズの放送が配信されています。映像の種類によっては、表示方法が異なる場合があります。

### D端子出力

D端子の映像の出力を選択します。 ご使用のテレビに合わせて、設定してください。

| 本機の設定 | テレビのD端子入力 | 本機から出力される信号 |
|---|---|---|
| D1 | D1 | 480iに変換して出力します |
| D2 | D2 | 480iまたは 480pに変換して出力します |
| D3 | D3 | 720pは1080iに変換、その他はそのまま出力します |
| D4 | D4 | 受信した信号をそのまま出力します |
| D3固定 | D3、またはD4 | 受信した信号にかかわらず、すべて1080iで出力します |

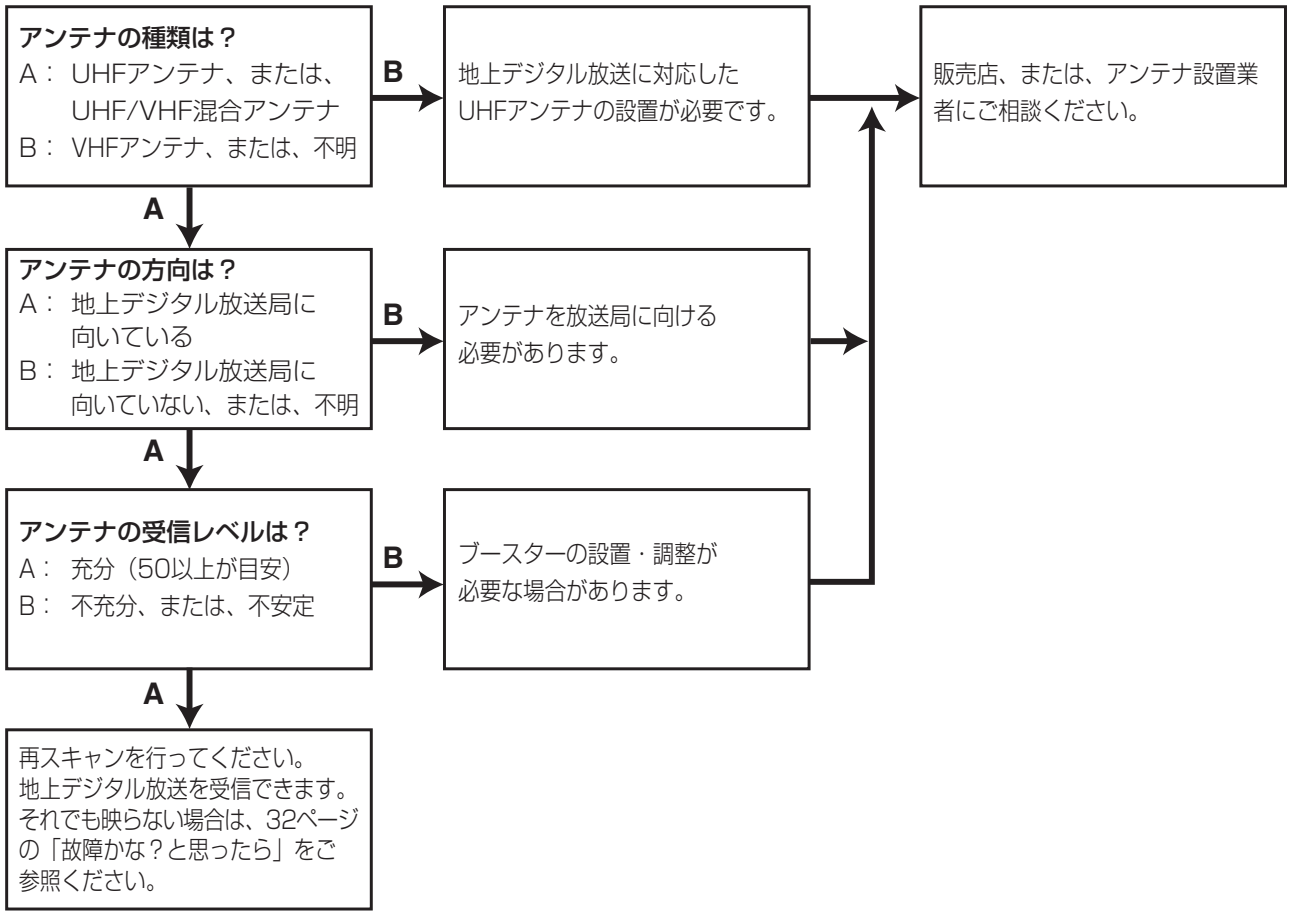
ご注意

- 接続するテレビのD端子が対応していないD端子出力を選択した場合、画面が映らなくなることがあります。
- 本体のチャンネル∧とチャンネル∨を3秒間同時押しすることで、元の設定「D1」に戻します。

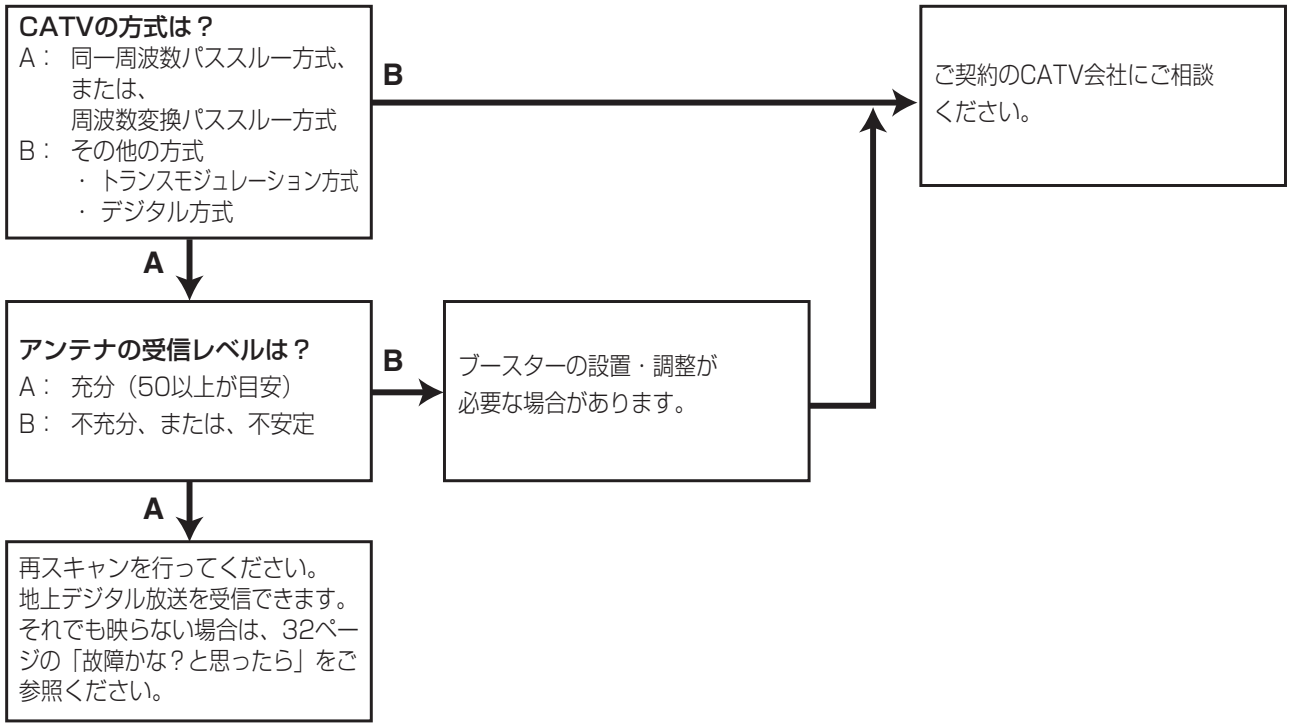
# 地上デジタル放送が受信できないときは

地上デジタル放送が受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。
※画面が映らない場合、出力設定を確認してください。(7ページの「映像出力の設定」、28ページの「D端子出力」を参照してください)

**アンテナで受信する場合：**




**CATVで受信する場合：**




- 本機はBSデジタルチューナーおよび110度CSデジタルチューナーを内蔵していません。
- ご使用のアンテナについては、販売店、またはアンテナ設置業者にご相談ください。
- 受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
- マンションなどの集合住宅の場合は、管理会社、または管理組合にご相談ください。

# 地上デジタル放送チャンネル一覧表

| 都道府県 | チャンネルポジション | 放送局 |
|---|---|---|
| 北海道（帯広） | 3 | NHK総合·帯広 |
| | 2 | NHK教育·帯広 |
| | 1 | HBC帯広 |
| | 5 | STV帯広 |
| | 6 | HTB帯広 |
| | 8 | UHB帯広 |
| | 7 | TVH帯広 |
| 北海道（釧路） | 3 | NHK総合·釧路 |
| | 2 | NHK教育·釧路 |
| | 1 | HBC釧路 |
| | 5 | STV釧路 |
| | 6 | HTB釧路 |
| | 8 | UHB釧路 |
| | 7 | TVH釧路 |
| 北海道（北見） | 3 | NHK総合·北見 |
| | 2 | NHK教育·北見 |
| | 1 | HBC北見 |
| | 5 | STV北見 |
| | 6 | HTB北見 |
| | 8 | UHB北見 |
| | 7 | TVH北見 |
| 北海道（旭川） | 3 | NHK総合·旭川 |
| | 2 | NHK教育·旭川 |
| | 1 | HBC旭川 |
| | 5 | STV旭川 |
| | 6 | HTB旭川 |
| | 8 | UHB旭川 |
| | 7 | TVH旭川 |
| 北海道（札幌） | 3 | NHK総合·札幌 |
| | 2 | NHK教育·札幌 |
| | 1 | HBC札幌 |
| | 5 | STV札幌 |
| | 6 | HTB札幌 |
| | 8 | UHB札幌 |
| | 7 | TVH札幌 |
| 北海道（函館） | 3 | NHK総合·函館 |
| | 2 | NHK教育·函館 |
| | 1 | HBC函館 |
| | 5 | STV函館 |
| | 6 | HTB函館 |
| | 8 | UHB函館 |
| | 7 | TVH函館 |
| 北海道（室蘭） | 3 | NHK総合·室蘭 |
| | 2 | NHK教育·室蘭 |
| | 1 | HBC室蘭 |
| | 5 | STV室蘭 |
| | 6 | HTB室蘭 |
| | 8 | UHB室蘭 |
| | 7 | TVH室蘭 |
| 青森 | 3 | NHK総合·青森 |
| | 2 | NHK教育·青森 |
| | 1 | RAB青森放送 |
| | 6 | ATV青森テレビ |
| | 5 | 青森朝日放送 |
| 岩手 | 1 | NHK総合·盛岡 |
| | 2 | NHK教育·盛岡 |
| | 6 | IBCテレビ |
| | 4 | テレビ岩手 |
| | 8 | めんこいテレビ |
| | 5 | 岩手朝日テレビ |

| 都道府県 | チャンネルポジション | 放送局 |
|---|---|---|
| 宮城 | 3 | NHK総合·仙台 |
| | 2 | NHK教育·仙台 |
| | 1 | TBCテレビ |
| | 8 | 仙台放送 |
| | 4 | ミヤギテレビ |
| | 5 | KHB東日本放送 |
| 秋田 | 1 | NHK総合·秋田 |
| | 2 | NHK教育·秋田 |
| | 4 | ABS秋田放送 |
| | 8 | AKT秋田テレビ |
| | 5 | AAB秋田朝日放送 |
| 山形 | 1 | NHK総合·山形 |
| | 2 | NHK教育·山形 |
| | 4 | YBC山形放送 |
| | 5 | YTS山形テレビ |
| | 6 | テレビユー山形 |
| | 8 | さくらんぼテレビ |
| 福島 | 1 | NHK総合·福島 |
| | 2 | NHK教育·福島 |
| | 8 | 福島テレビ |
| | 4 | 福島中央テレビ |
| | 5 | KFB福島放送 |
| | 6 | テレビユー福島 |
| 茨城 | 1 | NHK総合·水戸 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 12 | 放送大学 |
| 栃木 | 1 | NHK総合·東京 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 3 | とちぎテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 群馬 | 1 | NHK総合·東京 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 3 | 群馬テレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 埼玉 | 1 | NHK総合·東京 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 3 | テレ玉 |
| | 12 | 放送大学 |

| 都道府県 | チャンネルポジション | 放送局 |
|---|---|---|
| 千葉 | 1 | NHK総合·東京 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 3 | チバテレビ |
| | 12 | 放送大学 |
| 東京 | 1 | NHK総合·東京 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 9 | TOKYO MX |
| | 12 | 放送大学 |
| 神奈川 | 1 | NHK総合·東京 |
| | 2 | NHK教育·東京 |
| | 4 | 日本テレビ |
| | 6 | TBS |
| | 8 | フジテレビジョン |
| | 5 | テレビ朝日 |
| | 7 | テレビ東京 |
| | 3 | tvk |
| | 12 | 放送大学 |
| 新潟 | 1 | NHK総合·新潟 |
| | 2 | NHK教育·新潟 |
| | 6 | BSN |
| | 8 | NST |
| | 4 | TeNYテレビ新潟 |
| | 5 | 新潟テレビ21 |
| 富山 | 3 | NHK総合·富山 |
| | 2 | NHK教育·富山 |
| | 1 | KNB北日本放送 |
| | 8 | BBT富山テレビ |
| | 6 | チューリップテレビ |
| 石川 | 1 | NHK総合·金沢 |
| | 2 | NHK教育·金沢 |
| | 4 | テレビ金沢 |
| | 5 | 北陸朝日放送 |
| | 6 | MRO |
| | 8 | 石川テレビ |
| 福井 | 1 | NHK総合·福井 |
| | 2 | NHK教育·福井 |
| | 7 | FBCテレビ |
| | 8 | 福井テレビ |
| 山梨 | 1 | NHK総合·甲府 |
| | 2 | NHK教育·甲府 |
| | 4 | YBS山梨放送 |
| | 6 | UTY |
| 長野 | 1 | NHK総合·長野 |
| | 2 | NHK教育·長野 |
| | 4 | テレビ信州 |
| | 5 | abn長野朝日放送 |
| | 6 | SBC信越放送 |
| | 8 | NBS長野放送 |

| 都道府県 | チャンネルポジション | 放送局 |
|---|---|---|
| 静岡 | 1 | NHK総合･静岡 |
| | 2 | NHK教育･静岡 |
| | 6 | SBS |
| | 8 | テレビ静岡 |
| | 4 | 静岡第一テレビ |
| | 5 | 静岡朝日テレビ |
| 岐阜 | 3 | NHK総合･岐阜 |
| | 2 | NHK教育･名古屋 |
| | 1 | 東海テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ～テレ |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 8 | 岐阜テレビ |
| 愛知 | 3 | NHK総合･名古屋 |
| | 2 | NHK教育･名古屋 |
| | 1 | 東海テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ～テレ |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 10 | テレビ愛知 |
| 三重 | 3 | NHK総合･津 |
| | 2 | NHK教育･名古屋 |
| | 1 | 東海テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ～テレ |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 7 | 三重テレビ |
| 滋賀 | 1 | NHK総合･大津 |
| | 2 | NHK教育･大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | 読売テレビ |
| | 3 | BBCびわ湖放送 |
| 京都 | 1 | NHK総合･京都 |
| | 2 | NHK教育･大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | 読売テレビ |
| | 5 | KBS京都 |
| 大阪 | 1 | NHK総合･大阪 |
| | 2 | NHK教育･大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | 読売テレビ |
| | 7 | テレビ大阪 |
| 兵庫 | 1 | NHK総合･神戸 |
| | 2 | NHK教育･大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | 読売テレビ |
| | 3 | サンテレビ |
| 奈良 | 1 | NHK総合･奈良 |
| | 2 | NHK教育･大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | 読売テレビ |
| | 9 | 奈良テレビ |

| 都道府県 | チャンネルポジション | 放送局 |
|---|---|---|
| 和歌山 | 1 | NHK総合･和歌山 |
| | 2 | NHK教育･大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | 読売テレビ |
| | 5 | テレビ和歌山 |
| 鳥取 | 3 | NHK総合･鳥取 |
| | 2 | NHK教育･鳥取 |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| | 6 | BSSテレビ |
| | 1 | 日本海テレビ |
| 島根 | 3 | NHK総合･松江 |
| | 2 | NHK教育･松江 |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| | 6 | BSSテレビ |
| | 1 | 日本海テレビ |
| 岡山 | 1 | NHK総合･岡山 |
| | 2 | NHK教育･岡山 |
| | 4 | RNC西日本テレビ |
| | 5 | KSB瀬戸内海放送 |
| | 6 | RSKテレビ |
| | 7 | テレビせとうち |
| | 8 | OHKテレビ |
| 広島 | 1 | NHK総合･広島 |
| | 2 | NHK教育･広島 |
| | 3 | RCCテレビ |
| | 4 | 広島テレビ |
| | 5 | 広島ホームテレビ |
| | 8 | TSS |
| 山口 | 1 | NHK総合･山口 |
| | 2 | NHK教育･山口 |
| | 4 | KRY山口放送 |
| | 3 | TYSテレビ山口 |
| | 5 | YAB山口朝日 |
| 徳島 | 3 | NHK総合･徳島 |
| | 2 | NHK教育･徳島 |
| | 1 | 四国放送 |
| 香川 | 1 | NHK総合･高松 |
| | 2 | NHK教育･高松 |
| | 4 | RNC西日本テレビ |
| | 5 | KSB瀬戸内海放送 |
| | 6 | RSKテレビ |
| | 7 | テレビせとうち |
| | 8 | OHKテレビ |
| 愛媛 | 1 | NHK総合･松山 |
| | 2 | NHK教育･松山 |
| | 4 | 南海放送 |
| | 5 | 愛媛朝日 |
| | 6 | あいテレビ |
| | 8 | テレビ愛媛 |
| 高知 | 1 | NHK総合･高知 |
| | 2 | NHK教育･高知 |
| | 4 | 高知放送 |
| | 6 | テレビ高知 |
| | 8 | さんさんテレビ |
| 福岡 | 3 | NHK総合･福岡 |
| | 3 | NHK総合･北九州 |
| | 2 | NHK教育･福岡 |
| | 2 | NHK教育･北九州 |
| | 1 | KBC九州朝日放送 |
| | 4 | RKB毎日放送 |
| | 5 | FBS福岡放送 |
| | 7 | TVQ九州放送 |
| | 8 | TNCテレビ西日本 |

| 都道府県 | チャンネルポジション | 放送局 |
|---|---|---|
| 佐賀 | 1 | NHK総合･佐賀 |
| | 2 | NHK教育･佐賀 |
| | 3 | STSサガテレビ |
| 長崎 | 1 | NHK総合･長崎 |
| | 2 | NHK教育･長崎 |
| | 3 | NBC長崎放送 |
| | 8 | KTNテレビ長崎 |
| | 5 | NCC長崎文化放送 |
| | 4 | NIB長崎国際テレビ |
| 熊本 | 1 | NHK総合･熊本 |
| | 2 | NHK教育･熊本 |
| | 3 | RKK熊本放送 |
| | 8 | TKUテレビ熊本 |
| | 4 | KKTくまもと県民 |
| | 5 | KAB熊本朝日放送 |
| 大分 | 1 | NHK総合･大分 |
| | 2 | NHK教育･大分 |
| | 3 | OBS大分放送 |
| | 4 | TOSテレビ大分 |
| | 5 | OAB大分朝日放送 |
| 宮崎 | 1 | NHK総合･宮崎 |
| | 2 | NHK教育･宮崎 |
| | 6 | MRT宮崎放送 |
| | 3 | UMKテレビ宮崎 |
| 鹿児島 | 3 | NHK総合･鹿児島 |
| | 2 | NHK教育･鹿児島 |
| | 1 | MBC南日本放送 |
| | 8 | KTS鹿児島テレビ |
| | 5 | KKB鹿児島放送 |
| | 4 | KYT鹿児島読売TV |
| 沖縄 | 1 | NHK総合･那覇 |
| | 2 | NHK教育･那覇 |
| | 3 | RBCテレビ |
| | 5 | QAB琉球朝日放送 |
| | 8 | 沖縄テレビ(OTV) |

# 故障かな？と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下の表でチェックしてください。

| 症　状 | 主　な　原　因 | チ　ェ　ッ　ク　項　目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない。 | ① 電源プラグが抜けている。 | ① コンセントにしっかり差し込んでください。 | 9 |
| 電源が入っているのに操作ができない。 | ① 各種安全装置が働いている。 | ① 電源コードを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。 | 9 |
| 音声は出るが画像がでない。 | ① 映像出力が正しく設定されていない。<br>② データーを読み込んでいる。<br>③ UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 | ① 本機背面の出力切換スイッチを切り換えてください。<br>② データーの読み込みが終わるまでしばらくお待ちください。<br>③ アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 | 7<br>14<br>17 |
| 画像が映らない。 | ① 異なる外部入力モードになっている。<br>② 接続するテレビのD端子が対応していないD端子出力を設定している場合、画面が映らなくなることがあります。 | ① テレビの入力切換ボタンを押してお望みのモードにしてください。<br>② 本体のチャンネル∧とチャンネル∨を3秒間同時押しすることで、元の設定「D1」に戻してください。 | －<br>28 |
| 画像は出るが、音声がでない。 | ① 音量が最小になっている。<br>② リモコンのミュートボタンを押している。<br>③ 音声ケーブルが接続されていない。<br>④ UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 | ① テレビの音量＋ボタンを押してください。<br>② テレビのリモコンのミュートボタンを押して、ミュート状態を解除してください。<br>③ ケーブルをしっかり接続してください。<br>④ アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 | －<br>－<br>11～12<br>17 |
| 放送が映らない。 | ① B-CASカードが正しく挿入されていない。<br>② UHFアンテナが設置されていない。<br>③ ご使用の地区では放送が開始されていない。<br>④ アンテナ線が正しく接続されていない。<br>⑤ お住まいの地域を正しく設定していない。 | ① B-CASカードを正しく挿入してください。<br>② UHFアンテナが立っているか確認してください。<br>③ Dpaにお問い合わせください。<br>④ アンテナ線を正しく接続してください。<br>⑤ チャンネル設定を行なってください。 | 13<br>10<br>6<br>10<br>18 |
| 音声が途切れる。 | ① UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。<br>② デジタル受信中にチャンネルを切り換えるとチャンネル表示がでるタイミングで、音声が途切れることがあります。 | ① アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。<br>② チャンネルデータの取得処理によるものであり、故障ではありません | 17<br>－ |
| 放送局のマークが表示されない。 | ① 放送局のマークを表示するまでには時間がかかることがあります。 | ① 放送をしばらく視聴すると、マークが表示されます。 | － |
| 地上デジタル放送なのに画質が悪い。 | ① 地上デジタル放送では番組内容によりＳＤ放送（一般画質放送）とＨＤ放送（ハイビジョン放送）があり、ＳＤ放送の場合はＨＤ放送と比べ画質が落ちます。<br>② D4端子で接続されていない。 | ① 放送の内容によるもので故障では有りません。<br>② D4端子で接続してください。 | 6<br>11 |

| 症　状 | 主　な　原　因 | チ　ェ　ッ　ク　項　目 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| チャンネルが受信できない。 | ① アンテナをさえぎる障害がある。 | ① 障害が無いように、アンテナ位置を調整してください。 | − |
| | ② UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 | ② アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 | 17 |
| | ③ ケーブルテレビの送信方式が異なる。 | ③ ケーブルテレビ放送会社に、送信方式を確認してください。（本機が対応しているのはパススルー方式のみです。） | 6 |
| | ④ 契約していない有料放送である。 | ④ 有料放送会社と契約してください。 | − |
| 画面が止まる。 | ① アンテナをさえぎる障害がある。 | ① 障害物が無いように、アンテナ位置を調整してください。 | − |
| | ② UHFアンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 | ② アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 | 17 |
| | ③ アンテナおよびアンテナ線は専用のものを使用していない。 | ③ 専用のアンテナとアンテナ線を使用してください。 | 10 |
| デジタル放送が受信できなくなった。 | ① ソフトウェアのダウンロードをした。 | ① ソフトウェアのダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷状態時の設定値に戻る場合があります。再度設定のやり直しをして下さい。 | 27 |
| リモコンで操作できない。 | ① 電池の＋－が逆になっている。 | ① ＋－を正しく入れてください。 | 9 |
| | ② 電池が消耗している。 | ② 2本とも新しいものと交換してください。 | 9 |
| | ③ リモコンが本体の受光部に向いていない。 | ③ リモコンを正しく向けてお使いください。 | 9 |

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに誤動作を起こすことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
- 画面が映っている状態でコンセントを抜かないでください。お客様が設定したデータが消えてしまうことがあったり、製品の故障の原因となる場合があります。
- 室温や湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮することで“ビシッ”と音がする場合がありますが、故障ではありません。
- 地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

# エラー表示一覧表

代表的なエラーについて説明します。

| エラー表示 | エラーコード | 発生要因 | チェック項目 |
|---|---|---|---|
| 放送チャンネルでないため視聴できません | E200 | ・通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。<br>・ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。 | ・通常の放送チャンネルを選局してください。 |
| 信号レベルが低下しています | E201 | ・受信レベルが低下している。 | ・受信レベルが一時的に低下している場合は、受信レベルが回復するまでしばらくお待ち下さい。<br>・常時表示が出る場合は受信レベルが低いことが考えられ、10、17ページを再度ご確認頂き、アンテナ設置業者等にご相談ください。 |
| 受信できません | E202 | ・適合したアンテナでない。<br>・雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。<br>・アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。<br>・アンテナの設定値が合っていない。<br>・アンテナの方向ずれや故障。 | ・放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。<br>・アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。<br>・アンテナ線をご確認ください<br>※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。 |
| 現在放送されていません | E203 | ・選局したチャンネルでの放送が休止中。<br>・放送が終了している。 | ・番組表などで放送時間をご確認ください。<br>・放送中のチャンネルを選局してください。<br>※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。 |
| このチャンネルはありません | E204 | ・表示するチャンネルがまったくないため。 | ・表示できるチャンネルを選んでください。 |
| このチャンネルは受信できません | E210 | ・部分受信サービスを選局したため。 | ・本機は対応していないので受信できません。 |
| B-CASカードを正しくセットしてください | 0800 | ・B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。 | ・B-CASカードを抜き差ししてみてください。<br>・B-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。 |
| B-CASカードに不具合があります。カスタマーセンターにお問い合わせください | A1FF | ・使用できないB-CASカードを挿入している。 | ・同梱のB-CASカードを挿入してください。 |
| ICカードの交換が必要です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください | 6400<br>6581 | ・B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。 | ・カードを抜き差ししてみてください。<br>・それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。 |

# アフターサービスについて

- 修理を依頼される前に32ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。
- 本製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店または、サービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

**■保証書**（別に添付してあります。）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後、大切に保存してください。製造番号は品質管理上重要なものです。保証書と製品本体後面の製造番号をお確かめください。

**■保証期間はご購入日から1年間です。**

**■修理サービスについて**
この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、後の処理をしてください。

- 保証期間中は保証書の規定に従ってお買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンターが修理をさせていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げの販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

**■補修用性能部品の最低保有期間**
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後8年間です。

**■アフターサービス等について、おわかりにならないとき**
アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）窓口へお問い合わせください。



## 家電品 愛情点検明るい暮らし

長年ご使用のチューナーの点検を！

| | |
|---|---|
| こんな症状はありませんか | ・電源が入りにくい<br>・映像や音が出ない<br>・煙が出たり、異常な臭いや音がする<br>・水や異物が入った<br>・音は出るが映像がでない<br>・その他の異常や故障がある |

上記のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い上げの販売店に点検(有償)をご相談ください。

**J-Moss グリーンマークとは**
特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを示すマークです。含有する化学物質については、下記のウェブサイトをご覧ください。
http://www.orion-electric.co.jp/jp/products/index.html

# 仕様

| | | |
|---|---|---|
| 本体 | 電源 | AC100V (50/60Hz) |
| | 消費電力 | 4.0W |
| | 待機時消費電力 | 2.0W<br>0.1W（低消費電力モード） |
| | 外形寸法 | 5(高さ) × 22(幅) × 15.9(奥行)cm |
| | 質量 | 約0.6kg |
| | 映像出力端子 | 1.0Vp-p 75 Ω (RCAピンジャック) |
| | D4 映像出力端子 | (Y)1.0Vp-p (CB/CR)0.7Vp-p, 75 Ω |
| | デジタル音声出力端子 | 0.5Vp-p 75 Ω (RCAピンジャック) |
| | 許容動作温度 | (動作時) 5℃～40℃　(保存時) −20℃～60℃ |
| | 許容相対湿度 | 80%以下 |
| | 受信チャンネル | 地上デジタル：VHF1～12/UHF13～62/CATV C13～C63 |
| | アンテナ入力 | U/V混合 F型コネクター75 Ω |
| リモコン | 電源 | DC3V（単3乾電池×2） |
| | 質量 | 約49g |
| | リモコン操作距離 | 約5m（ただし直進） |
| | 型番 | ST−002 |
| 付属品 | リモコン×1、単3乾電池×2、映像/音声コード×1、B-CAS（ビーキャス）カード×1 | |

写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。
実物とは多少異なりますのでご了承ください。
外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
本機をご使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan.
本体底面に定格ラベルが付いています。

DOSHISHA CORPORATION
発売元 株式会社ドウシシャ
**株式会社ドウシシャ　福井AVサービス**
〒915-0801　福井県越前市家久町41-1
☎ (0778)24-2779
FAX (0778)24-2799

J2M40201A SH 09/07 K
Printed in Thailand